

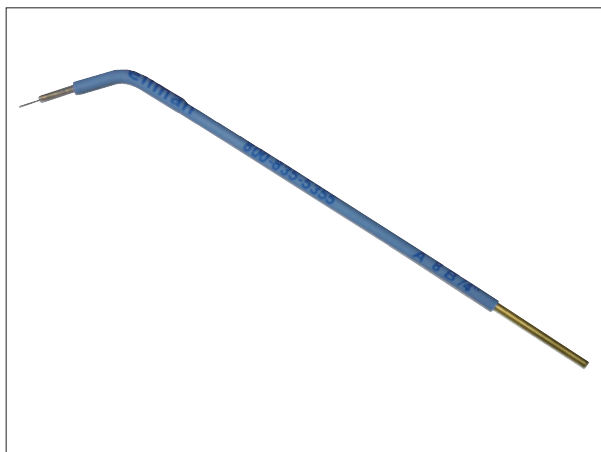


図9



図10

おわりに

ellman RFナイフの特徴や使い方を知っておけば、出血の少ない、質の高い眼形成手術を行うことができます。皆さんにも是非ともellman RFナイフの有用性を体感して頂き、上質の手術を行って頂けたらと思います。

図説：

図1：左より，無鉤鑷子，有鉤鑷子，針，スキンフック。

図2：麻酔時．できるだけ刺入点の皮膚をのばす．

図3：デザイン．先端の細いマーカーで描く．その時，皮膚を緊張させることが重要．

図4：止血1．ガーゼで出血点を押さえたところ．

図5：止血2．ガーゼを少しずつずらして出血点を出したところ．

図6：止血3．バイポーラ止血鑷子で止血．

図7：メス．左より，No.11，No.15．

図8：針状電極での切開方法．

図9：TA8-4（バリ・チップ電極4インチ）

図10：IEC-H40（吸引式凝固電極ユニット）

著者略歴



柿崎 裕彦

KAKIZAKI HIROHIKO

平成8年 大阪市立大学医学部卒業

平成12年 愛知医科大学眼科学講座 助手

平成19年 The Queen Victoria Hospital（イギリス）留学

平成20年 Royal Adelaide Hospital, University of Adelaide（オーストラリア）留学

平成21年 愛知医科大学眼科学講座 准教授

平成24年 愛知医科大学 眼科学講座 教授（特任）

平成28年 愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 部長

アメリカ眼形成外科学会誌 編集委員

ヨーロッパ眼形成外科学会誌 編集委員

アジア太平洋眼形成外科学会 元理事長

日本眼形成再建外科学会 前理事長